

# 1月くるみぐみだよ!

担当：久保田眞由美 小湊雅美

## 新年あけましておめでとうございます

ご家庭で過ごされたお正月はいかがでしたか？残り少ない今年度ではありますが、子どもたちと一緒に、元気で楽しい毎日をご過ごしていきたいと思っております。残り3ヶ月を有意義に過ごすため、子どもたちと同じ目の高さに立って、気持ちに添えるように接していきたいと思っています。今年もよろしく願いいたします。

### 1月の行事

- ・ 8日(木) 交通訓練
  - ・ 15日(木) 火災訓練
  - ・ 16日(金) お楽しみ会
  - ・ 22日(木) くるみ組ごっこ遊び見せあいっこ
  - ・ 29日(木) くるみ組ごっこ遊び見せあいっこ
- \* 2月21日(土) は、発表会です。**

### ●今月の歌

たきび こんこんくしゃん たこ ゆきのこぼうず 豆まき

### ●今月のわらべうた

にぎりばっちり ドッチンカッチン おでんでんぐるま  
ととけっこ ゆきこんこ えんやらものき  
ちゅっちゅこっことまれ

### ●今月の絵本

わんわんなくのはだあれ ばいばいまたね あっぷっぷ  
どんどこもんちゃん ぼけつとぼん いないいないばあ

### ～新しいお友だちが入ります～

**中津ゆうかさん(11月28日生)です。**

笑顔がとても可愛い女の子です。探索活動が盛んで、いろんなことに興味がいっぱいです。いっしょにたくさんあそんで仲良くなりましょうね。よろしくお祈りいたします。



## 12月の様子

### ●もちつき大会



今年のもちつき大会は「もちつき ペったん」という絵本を使い、登場人物のかばさんも登場してお餅つきを楽しみました。前日から、小麦粉粘土で餅つきごっこや餅まるめごっこを楽しんだくるみ組のこどもたち。当日はいつもと違う雰囲気戸惑ってしまう姿もありましたが、大好きなお母さんやおじいちゃんおばあちゃんと一緒に、お餅をついたり、まるめたり…。つきたてのお餅を丸めるのは子どもたちには難しかったと思いますが、お家の方と一緒に嬉しそうに丸めている姿が微笑ましかったです。その後は、みんなで作ったお餅や豚汁



を味わい、普段の保育園での姿とはまた違う子どもたちの姿も見ることが出来、楽しいひと時が過ぎました。1日、温かい雰囲気の中で、もちつき大会を行う事が出来、とても幸せな気持ちになりました。保護者のみなさまにはご協力いただき、本当にありがとうございました。

### ●サンタさんに合えたよ! ~クリスマス会~

クリスマス会では、みんなが幸せな気持ちになれるようにと気持ちを込めて、年長児のキャンドルサービスや、職員によるハンドベル演奏などが行われました。くるみ組の子どもたちも、保育士やお兄さんお姉さんと一緒に会に参加し、最後まで楽しむ事が出来ました。サンタさんが登場すると、びっくりして保育士のもとへ抱かれに来る子や、サンタさんに背を向けて、見ないようにする子など、さまざまでしたが、プレゼントをもらって、とっても喜んでいました。(プレゼントは、手作りのかぶって遊べる動物の人形でした。) 会が終わりプレゼントを見せると、身を乗り出して見入っていた子どもたち。早速、袋から出すと、「ワンワン」「ピョンピョン」と手に取ってみたり、頭にかぶってお互い見合ったり、うれしそうでした。子どもたちの楽しそうな姿をみて、私たちもとても幸せな気持ちになりました!



### ●応援したよ! ~マラソン大会~

年末に行われたマラソン大会!とあ君はお部屋から応援しました。大きい子どもたちは、サークル車に乗って道端で応援をしました。走ってくるお兄さんお姉さんの姿が見えてくると「あ〜!」「お〜い!!」と、手作りの旗をしっかりと振って歓声をあげて応援していました。お兄さんたちの走る姿を見ていたためか、応援の後は、改善センターの広場でしばらく「ヨーイドン!!」と走ることを楽しんでいました。「応援ありがとう!」と嬉しそうに伝えるに来てくれたお兄さんお姉さんです。



### ◇運動 ~うろうろ散歩一見つけたいものがいっぱい~

歩行を獲得した子ども達にとっては自分の体を動かして探索する活動は楽しいものです。10メートルの道のりを歩くのに20分も30分もかけて歩けるくらい、時間がかかるのではなく、時間をかけることができるのです。寒い日が多くなりましたが、日差しがいっぱいの日は温かい時間を選んで、散歩に出かけました。「お日様もちいいね〜」と話しながら空をみあげると「かあかあ!」「ぶーん!」「あつ」と、飛行機やからす、すずめ等見つけた物をうれしそうに伝えてくれる子どもたちです。温泉広場まで行き遊んでいると、日陰はまだ霜で白くなっていました。気が付いたこはるさんが「あつ!」と霜の上を歩くとサクサク音がします。「わあ〜音がするね」と話していると、はる君こうりょう君も来てみんなで歩いて回り、歩いた後の足跡をみつけて「ん?」と指さし大喜びでした。子どもたちの目の高さで自然を感じ、自ら発見していく楽しさを感じているようでした。



### ◇集団

とあ君は腹ばいで遊べる時間が増え、ベットにいるよりもみんなと一緒におなじ場所で“遊ぶのがうれしい”というように、大きい友だちがあそんでいる場にいると腹ばいになって手足をパタパタ動かしたり、ぐっと顔をあげて嬉しそうに周りを見えています。そんなとあ君に大きい子どもたちはとても優しいまなざしで接しています。お姉さ



んお兄さんという気持ちが芽生えてきているのか、一緒に寝転んで顔を寄せ合っ  
てあそんだり、ガラガラの玩具を持って  
きてくれたり、とあ君が顔を触ろうと手  
を伸ばすとじっと触らせてあげたり、目  
線をあわせて遊んでいます。月齢差があるくるみさんですが、子ども  
同士のいろんな関わりや遊びの中で育ちあっています。

## ◇絵本

今月は、『たまごのあかちゃん』を読  
んできました。この絵本は、絵にとても  
インパクトがあり、赤ちゃんが絵本に注  
目しやすいようです。「たまごのなかで  
…」 「でておいでよ〜！」と読むと、目  
はじっと絵を見つめ、耳を澄ましてこと



ばを聞いているのがわかります。絵本の簡単なフレーズをまねっこす  
ることが楽しくなっている子どもたち。「でておいでよ〜！」と  
読みながら手を口元にもっていくと、子ども達も手を動かして真似っ  
こをして「よ〜！」返してくれます。それから、何かな？という感じ  
でたまごの絵に集中してページをめくられるのが待ちきれないよう  
に覗き込んできます。ペンギンのあかちゃんが、「ぴっぴっぴ」とで  
てくると保育士が「こんにちは」とちょっと頭を下げてみます。する  
と、子ども達も誘われて、頭を下げて真似っこします。くりかえし登  
場するたまごとあかちゃんに、嬉しそうに、手振りや身振りをしなが  
ら絵本の世界を楽しんでいます。

たんと読むのではなく、身振り手振りを入れたり、抑揚をつけ  
て読んでいくと、子どもたちも、その絵本のキーワードをつかみ、そ  
の繰り返しを面白さを支えにしながら、絵本の中にはいっていきそう  
です。子どもなりに理解できる言葉を真似しながら身振りすることで、  
より言葉の理解を深め、絵本への能動的参加を促すと言われています。  
子どもたちが絵本を好きになってくれるように、そんなことを大事に  
しながら読み聞かせをしていきたいです。

## ◇言語認識



鼻歌を歌ったり、見つけたものを指さして  
「あっ」「まんま」と言ったり、保育士が言った  
言葉を真似しようとしたり、お友だちに呼びか  
けるように「あい！」「ん？」と言ったり、子ど  
もたちの声がたくさん聞かれるようになりました。  
指さしも、大人が「わんわんだね」「あつた  
ね」など言葉を添えるのを期待しながらしきり  
に指さしをするようになってきました。子どものつぶやきや、指さし  
に「〇〇だね」と言葉を添えることで、心が通じ合い、言葉を一つひ  
とつ覚えながら、状況にあった言葉が使えるようになっていくのだと  
思います。

子どもたちの小さなつぶやきに耳を澄ませて、かかわっていきたいな  
と思います。

## ◇生活 ●食事

とあ君も離乳食がスタートしました。初め  
での重湯を口にしたときは、「ん？」という表  
情をしていましたが、2日目3日目と進むと、  
上手に口を開けてゴックンしていました。と  
あ君が食事を始めると他のお友だちも、集ま  
ってきて見守ってくれることもあります。「お  
いしそうだね。」「みんなもごはん食べようか」と話し食事の準備  
を始めています。



保育園での離乳を進めていく長所は、①子どもの育ちを保護者  
だけでなく、保育士、調理師、栄養士、時には園長先生も交えて  
確認したり、方向を探っていく点にあります。②作り置きをす  
るということがないので、毎日新鮮な材料で調理することができます。  
③離乳を進める目安があるということと、みんなで食事をする楽しさを身につけ、「自分で食べたい」という意欲を育むこと  
ができるということです。そのためにも、ご家庭と連絡を取り合  
い、確認を取り合いながら、離乳を進めるということを大切に考  
えています。

## ●身辺自立～いろんなことに挑戦～

お友だちのすることをよく見ていて、“おなじようにしてみたい”

という気持ちが芽生え始めたはる君こうりょう君。朝からこはるさん  
がタオルを掛けに行くのを見ていて、「自分も」というようにリュックから出すと嬉  
しそうに手に持って掛けに行っています。  
タオルのひもをしっかり握ってフックへ  
掛けようと一生懸命です。なかなか難しい  
のですが少し手伝ってあげて掛けること  
が出来ると「(でき) た！」とニコリしていました。最近使った  
おしぼりを自分でケースに入れることにも取り組んでいます。お互い  
見合いながら「ぎゅっぎゅっ」と入れてみては、また出して…と楽し  
そうです。



## ●排泄 「でった」排泄の自立へ・・・



寒くなって、排尿の間隔が短くなったり、  
出たすぐ後にまた出てしまったりという  
事もありますが、パンツに出ても「ちっち」  
「でた」と教えてくれることもあります。  
オマルで出ると「でた！」「あっ」と確認  
してうれしそうです。成功を積み重ねなが  
ら、少しずつ排泄の自立に近づいている子  
どもたちです。

大グループの子ども達は、トイレで排泄の練習をしています。オマ  
ルからトイレとなんでもないようですが、子ども達にとっては、場所  
も座り方も違います。ちょっとした変化ですが、大きな変化のよう  
です。進級に向けて少しずつ少しずつ取り組んでいきたいと思  
います。